



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 サカイオーベックス株式会社
コード番号 3408 URL <http://www.sakaiovox.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松木伸太郎

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 室坂浩一

TEL 0776-36-5800

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	12,642	6.9	718	28.8	1,413	56.2	987	75.5
27年3月期第2四半期	11,821	14.0	557	△18.1	905	△5.2	562	△19.3

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 643百万円 (45.1%) 27年3月期第2四半期 443百万円 (△63.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	15.33	15.30
27年3月期第2四半期	8.73	8.73

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	26,035	15,046	57.5
27年3月期	25,463	14,612	57.2

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 14,969百万円 27年3月期 14,554百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,500	2.6	1,550	5.9	2,200	3.5	1,500	11.4	23.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	68,362,587 株	27年3月期	68,362,587 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	4,737,887 株	27年3月期	3,911,251 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	64,437,466 株	27年3月期2Q	64,473,064 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安と株高を背景とした好調な企業業績や堅調な設備投資等に支えられ、総じて緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、円安による輸入価格の上昇や、中国経済の景気減速をきっかけとした新興国経済の下振れ懸念など、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

このような経営環境の中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業況は、染色加工事業、繊維販売事業、その他の事業、全てのセグメントで増収となり、原材料価格の高止まりや、円安による製造コストの上昇は引き続きあったものの、増収効果などにより営業利益は増益となりました。また、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、持分法による投資利益の増加により、大幅な増益となりました。

当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は12,642百万円と前年同期比821百万円(6.9%)の増収となり、営業利益は718百万円と前年同期比160百万円(28.8%)の増益、経常利益は1,413百万円と前年同期比508百万円(56.2%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、987百万円と前年同期比424百万円(75.5%)の増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

(染色加工事業)

当事業では、婦人衣料用途、ユニフォーム用途及び産業資材用途等が、引き続き堅調に推移し増収となりました。利益面では、原材料価格は相変わらず高止まりしているものの、工場稼働の効率化やエネルギー価格が漸次下落傾向に転じたこともあり、増益となりました。

当事業の売上高は、6,254百万円と前年同期比34百万円(0.6%)の増収となり、営業利益は278百万円と前年同期比74百万円(36.2%)の増益となりました。

(繊維販売事業)

テキスタイル事業は、婦人衣料用途が堅調に推移した他、主力のユニフォーム用途では、既存客先の再構築に重点的に取り組むとともに、新市場や新規商流の開拓に努めました。アパレル事業は、アセアン縫製を活用した商流を更に拡大し、既存OEM先への拡販に努める一方、ODMによる企画機能を強化することによって、新規客先の取り込みを進めました。また、テキスタイル事業とアパレル事業の連携や、両事業と当社グループが保有する高品位の縫製事業とのタイアップにより、自社素材での製品一貫加工に取り組みました。酒伊貿易(上海)有限公司は、中国内販事業ならびにアセアン地域を活用した事業の拡大に継続して取り組みました。

当事業の売上高は、3,867百万円と前年同期比749百万円(24.0%)の増収となり、営業利益は241百万円と前年同期比16百万円(7.2%)の増益となりました。

(その他の事業)

電子機器事業は、制御機器関連が伸び悩んだものの、電力工事関連ならびに情報システム関連が堅調に推移しました。水産資材事業は、沖縄県、鹿児島県での中層浮魚礁事業に重点的に取り組みました。織布事業は、引き続き、海外向け織物用糸加工が堅調でした。建設不動産事業は、民需案件の獲得に努めるとともに、受注した大口物件の施工に注力しました。複合部材事業は、国内外での販促活動に注力し、モータースポーツ市場などへの営業展開を加速することで、当社独自商品の差別化と競争力の強化に努めました。縫製事業は、国内縫製事業において主力である百貨店系アパレル向けの商品販売が伸び悩んだものの、海外生産拠点を活用した事業が堅調に推移しました。

その他事業の売上高は、2,521百万円と前年同期比37百万円(1.5%)の増収となり、営業利益は192百万円と前年同期比68百万円(55.9%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ571百万円増加して26,035百万円となりました。流動資産は、401百万円増加して11,066百万円となり、固定資産は、有形固定資産は減少したものの、投資その他の資産の増加により170百万円増加して14,968百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ137百万円増加して10,988百万円となりました。流動負債は、1百万円増加して7,088百万円となり、固定負債は、135百万円増加して3,899百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ434百万円増加して15,046百万円となりました。これは、その他の包括利益累計額が為替換算調整勘定の減少などにより346百万円減少したものの、株主資本が761百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の57.2%から57.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は2,672百万円となり、前連結会計年度末に比べ27百万円減少しました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は517百万円の収入（前年同期は89百万円の収入）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益1,437百万円や減価償却費277百万円がある一方で、持分法による投資利益637百万円や法人税等の支払額293百万円によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は126百万円の支出（前年同期は79百万円の支出）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出118百万円によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は420百万円の支出（前年同期は405百万円の支出）となりました。主な要因は、配当金の支払額127百万円や自己株式の取得による支出160百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月14日発表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しています。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しています。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っています。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っています。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しています。

これによる損益に与える影響はありません。

(4) 追加情報

(持分法適用会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、決算日が12月31日である持分法適用関連会社の東麗酒伊織染(南通)有限公司については、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っていましたが、第1四半期連結会計期間より、連結決算日である3月31日に仮決算を行い連結する方法に変更しています。

この変更に伴い、平成27年1月1日から平成27年3月31日までの当該関連会社の損益は、利益剰余金に直接計上しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,830,871	2,810,876
受取手形及び売掛金	4,425,886	4,276,307
電子記録債権	461,037	501,343
商品及び製品	1,152,031	1,243,360
仕掛品	635,765	864,455
原材料及び貯蔵品	421,660	403,744
その他	775,774	1,004,352
貸倒引当金	△38,050	△38,243
流動資産合計	10,664,976	11,066,195
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,801,109	2,724,596
機械装置及び運搬具(純額)	998,523	863,935
土地	2,718,291	2,718,291
リース資産(純額)	36,052	45,679
建設仮勘定	54,923	88,335
その他(純額)	48,011	44,719
有形固定資産合計	6,656,912	6,485,558
無形固定資産		
のれん	36,430	31,876
その他	101,579	114,538
無形固定資産合計	138,010	146,414
投資その他の資産		
出資金	4,976,981	5,483,724
その他	3,028,991	2,855,560
貸倒引当金	△2,370	△2,357
投資その他の資産合計	8,003,602	8,336,927
固定資産合計	14,798,525	14,968,900
資産合計	25,463,501	26,035,096

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,716,452	3,752,530
短期借入金	1,608,800	1,542,675
未払法人税等	301,755	264,775
賞与引当金	481,254	511,946
その他	979,050	1,016,686
流動負債合計	7,087,313	7,088,613
固定負債		
長期借入金	2,177,805	2,124,655
退職給付に係る負債	706,234	732,038
資産除去債務	107,349	107,958
その他	772,714	935,193
固定負債合計	3,764,103	3,899,844
負債合計	10,851,416	10,988,457
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,655,044	4,655,044
資本剰余金	2,037,362	2,037,362
利益剰余金	6,548,480	7,470,606
自己株式	△811,489	△971,861
株主資本合計	12,429,397	13,191,151
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	695,287	563,876
繰延ヘッジ損益	17,580	△27,439
為替換算調整勘定	1,415,101	1,228,896
退職給付に係る調整累計額	△3,086	13,312
その他の包括利益累計額合計	2,124,883	1,778,645
新株予約権	14,076	31,086
非支配株主持分	43,727	45,755
純資産合計	14,612,084	15,046,638
負債純資産合計	25,463,501	26,035,096

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	11,821,694	12,642,820
売上原価	10,230,607	10,912,903
売上総利益	1,591,086	1,729,916
販売費及び一般管理費	1,033,287	1,011,268
営業利益	557,799	718,648
営業外収益		
受取利息	3,916	3,330
受取配当金	26,308	26,219
持分法による投資利益	316,261	637,746
その他	42,267	59,180
営業外収益合計	388,755	726,477
営業外費用		
支払利息	33,765	26,696
その他	7,559	4,500
営業外費用合計	41,324	31,197
経常利益	905,230	1,413,928
特別利益		
固定資産売却益	5,393	1,417
投資有価証券売却益	—	185
助成金収入	374	2,428
補助金収入	20,000	20,000
特別利益合計	25,768	24,031
特別損失		
固定資産除却損	386	408
投資有価証券売却損	—	320
その他	750	—
特別損失合計	1,136	729
税金等調整前四半期純利益	929,862	1,437,231
法人税、住民税及び事業税	192,992	263,904
法人税等調整額	171,612	183,513
法人税等合計	364,604	447,417
四半期純利益	565,258	989,813
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,314	2,044
親会社株主に帰属する四半期純利益	562,943	987,768

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	565,258	989,813
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	76,179	△131,427
繰延ヘッジ損益	9,334	△45,019
為替換算調整勘定	△13,328	8,064
退職給付に係る調整額	26,802	16,398
持分法適用会社に対する持分相当額	△220,781	△194,269
その他の包括利益合計	△121,792	△346,253
四半期包括利益	443,465	643,559
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	441,141	641,531
非支配株主に係る四半期包括利益	2,324	2,027

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	929,862	1,437,231
減価償却費	301,976	277,910
のれん償却額	4,553	4,553
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,259	179
受取利息及び受取配当金	△30,225	△29,550
支払利息	33,765	26,696
為替差損益(△は益)	2,315	△1,862
持分法による投資損益(△は益)	△316,261	△637,746
有形固定資産売却損益(△は益)	△5,393	△1,009
売上債権の増減額(△は増加)	△582,897	110,287
たな卸資産の増減額(△は増加)	△512,858	△271,103
仕入債務の増減額(△は減少)	359,162	35,486
その他	310,812	△142,659
小計	496,070	808,414
利息及び配当金の受取額	30,225	29,550
利息の支払額	△34,100	△26,740
法人税等の支払額	△402,572	△293,870
営業活動によるキャッシュ・フロー	89,622	517,353
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△101,308	△118,014
無形固定資産の取得による支出	—	△1,250
有形固定資産の売却による収入	9,845	1,851
投資有価証券の取得による支出	△13,841	△3,783
投資有価証券の売却による収入	10,000	332
その他	16,291	△5,737
投資活動によるキャッシュ・フロー	△79,012	△126,601
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,000	△5,000
長期借入れによる収入	750,000	700,000
長期借入金の返済による支出	△1,007,429	△814,275
自己株式の取得による支出	△95	△160,372
配当金の支払額	△126,672	△127,298
その他	△18,203	△14,049
財務活動によるキャッシュ・フロー	△405,400	△420,995
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,880	2,843
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△397,670	△27,398
現金及び現金同等物の期首残高	2,009,051	2,699,793
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,611,380	2,672,394

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年9月17日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式を取得することを決議し、自己株式立会外買付取引(ToSTNet-3)により、自己株式825,000株の取得を行いました。

この結果、自己株式は単元未満株式の買取りと併せ、当第2四半期連結累計期間において160,372千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が971,861千円となっています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	染色加工 事業	繊維販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,219,665	3,118,273	9,337,938	2,483,755	11,821,694	—	11,821,694
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	8,218	5,812	14,031	256,894	270,926	△270,926	—
計	6,227,884	3,124,086	9,351,970	2,740,650	12,092,621	△270,926	11,821,694
セグメント利益	204,724	225,087	429,812	123,316	553,129	4,669	557,799

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、織布事業、電子機器事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	染色加工 事業	繊維販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,254,092	3,867,456	10,121,548	2,521,271	12,642,820	—	12,642,820
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	35,884	7,037	42,921	246,306	289,227	△289,227	—
計	6,289,976	3,874,493	10,164,469	2,767,578	12,932,048	△289,227	12,642,820
セグメント利益	278,807	241,236	520,044	192,266	712,310	6,337	718,648

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、織布事業、電子機器事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。